

**製品名: FAM111A ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21235**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:100-1:300
分子量	Calculated MW::Observed MW:67kD

**抗原情報**

遺伝子名	FAM111A;KIAA1895
別名	FAM111A;KIAA1895;Serine protease FAM111A;
遺伝子 ID	63901.0
SwissProt ID	Q96PZ2
免疫原	ヒト FAM111A の組み換えタンパク質

**背景**

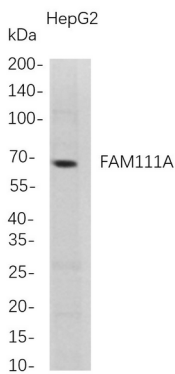
細胞局在: 核、染色体、細胞質。注記: 主に核に局在し、複製部位で PCNA と共局在する...この遺伝子によってコードされるタンパク質は細胞周期によって制御され、核に局在する。タンパク質の C 末端側はトリプシン様ペプチダーゼと相同性を持ち、増殖細胞核

抗原 (PCNA) との共局在に必要な PCNA 相互作用ペプチド (PIP) ボックスを含む。この遺伝子の発現低下は DNA 複製障害を引き起こし、これはサルウイルス 40 (SV40) の複製におけるこの遺伝子の実証された役割と一致する。この遺伝子の変異は、ケニー・カフィー症候群 (KCS) 2 型およびより重篤な骨頭蓋狭窄症 (OCS、別名: 薄骨異形成症) と関連付けられており、どちらも低身長、副甲状腺機能低下症、骨発育異常、および低カルシウム血症を特徴とする。選択的スプライシングは複数の転写産物変異体をもたらす。[RefSeq 提供、2015 年 8 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



HepG2 細胞全細胞ライセートのウェスタンブロット解析では、4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを抗 FAM111A ウサギモノクローナル抗体でブロッティングした。抗体の検出には、HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。